

ひのみやくら



No.37

平成31年2月

発行

鶴岡市消防団藤島方面隊
広報委員会



6/9 鶴岡市水防訓練の様子

「忘れてない？ サイフにスマホに火の確認」

～平成30年度 全国統一防火標語～



藤島方面隊長
成澤 正喜

藤島地域の皆様には、消防団活動への多大なるご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。さて、今年度は集中豪雨が5月に1回、8月に3回と合計4回有りました。(4Pに関連記事掲載) 藤島地域においては、京田川と藤島川が大雨による増水のため、避難情報の発令と避難勧告の発令がありました。又、避難所の開設もされました。藤島方面隊は、水防団として河川の情報収集及び、監視とポンプによる排水作業、土のうを積み流水の防止作業を実施しました。

近年は、過去の経験以上の豪雨が発生してきます。今後も藤島地域の安全安心を守り、活動して行きます。



4/8 (日) 初任消防団員 研修会

初任消防団員研修会が藤島体育館で行われ、今年も新入団員23名が入団となりました。



開会式での成澤方面隊長の挨拶に始まり、方面隊長より部隊構成の基礎である【訓練礼式】の指導を受けました。

この研修会を通して、消防団員は「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念の基、地域防災の担い手として地域を守る消防団の一員として成長することが期待されます。

4/22 (日) 藤島方面隊 春季消防訓練



4月22日藤島方面隊春季消防訓練が藤島体育館駐車場を会場に行われました。

指揮者の力強い号令で、小隊、中隊に分れて基礎動作訓練に加え、各分団ごと選抜された団員による小隊行進間訓練を実施しました。行進間訓練は士気を高め、規律、迅速な行動、チームワークが求められます。災害現場においては迅速、安全で確実な行動が求め

7/8 (日) 藤島方面隊 消防操法審査会

られます。この訓練によって基礎動作訓練や規律迅速な行動、チームワークの大切さを改めて再確認しました。

藤島体育館駐車場を会場に、方面隊操法審査会が行われ、自動車ポンプ3台、小型ポンプ5台が競技に臨みました。

今年も庄内支部大会への出場は自動車ポンプのみとなり、小型ポンプは各分団ごとに選抜された番員での参加、審査となりました。自動車ポンプは、地元地域の防災の要という位置づけゆえに、団員の日頃のチームワークが試される場となり、審査員の厳しい審査を通じ、改めて有事の際の行動に備える良い機会となりました。

選抜者構成という形となった小型ポンプは、自分達の班とは違うメンバーや、地元幹部とのコミュニケーションを通じ、どのように連携を取って競技に臨むかが順位決定の大きな要素となりました。この経験をもとにそれぞれの番員が自分の班に経験を持ち帰り、有事の際の行動に活かしてくれる事でしょう。

順位

ポンプ車の部

1位

第四分団第三部第一班

表小路

2位

第五分団第一部第一班

東渡前

3位

第三分団第三部第三班

下川尻

小型ポンプの部

1位 第四分団選抜

2位 第一分団選抜

3位 第三分団選抜
4位 第一分団選抜
5位 第五分団選抜



8/5 (日) 庄内支部 消防操法大会



庄内地区各消防団の代表チームが日夜練習を積み重

ねた成果を競い合う消防操
法庄内支部大会が三川町の
県消防学校にて行われまし
た。

藤島方面隊からは、下川
尻班が自動車ポンプの部に
出場。大会当日の不安定な
天候も影響してか、練習通
りの実力を発揮する事がで
きず、残念ながら入賞とは
なりませんでした。

限られた時間の中で練習
を積み重ねた下川尻班に感
謝と敬意を表します。また、
ご協力頂きましたご家族の
皆様に心より感謝申し上げ
ます。

出場した下川尻班

メンバー

- 指揮者 太田 光洋
- 1番員 太田 安隆
- 2番員 石井 俊
- 3番員 佐藤 吉人
- 4番員 佐藤 雄三
- 補助員 佐藤 達哉



8/5 (日)

ふじしま夏祭り 梯子乗り演技披露

ふじしま夏祭りのメイン

企画「庄内伝統芸能祭」の
スタートを飾る演目として
藤島方面隊が誇る「梯子乗
り纏振り隊」が演技披露を
行いました。

今年は悪天候のため、藤
島体育館アリーナでの披露
となりましたが、日頃の訓
練から繰り出す梯子乗り手
の華麗な演技と、血気ある

纏振り手と梯子支え手の、
「ヤー！ヤー！」の掛け声
が、多くの観覧者を盛大に
沸かせました。



9/2 (日)

地域総合 防災訓練

今年度の総合防災訓練は、

分団毎にそれぞれの地域で
実施され、第2分団におい
ては約30年ぶりに下中野目
町内会で行われました。

はじめに「震度6弱の地震
が発生したことによる家屋
の倒壊・火災発生」との想
定で、避難誘導訓練や毛布

と2本の棒で作った即席担
架による怪我人搬送訓練が
行われました。

避難誘導訓練では、町内
会の方が防災無線を使って
避難指示を行い、めったに
使う機会のない防災無線の
使用手順を確認することが
できました。

続いて、地元出身の高橋
女性消防隊員の指導のもと、
AEDを使った心肺蘇生訓
練が行われました。

訓練場所の公民館には入
りきれないほどの人が集ま
り、心肺蘇生の手順を熱心
に聞きながら実演する様子
がうかがえました。



初期消火訓練では、カラ
ーコーンを標的に水消火器
による消火訓練が行われ、
大人はもとより子供達から
も消火器の使い方を学んで
いただきました。



最後に行われた火災防衛
訓練では、自主防災会によ
る消火栓からの放水を消防
団員による各班中継の一斉
放水につなぎ、自主防災会
と消防団員との連携による
消火活動を再確認しました。
この度の訓練では、町内
会の方々を中心とした消火
活動が展開され、参加者の

防災意識と消防団員の技術向上を図ることができました。

ご多用中にもかかわらず訓練に参加いただいた地元町内会の皆さんに心から感謝申し上げますとともに、有事の際は、訓練での経験をお役立ていただきたいと思います。

★防災訓練実施町内会

- 第1分団 (駅前)
- 第2分団 (下中野目)
- 第3分団 (下蛸井)
- 第4分団 (表小路)
- 第5分団 (柳久瀬)

おらほの 消防団

第五分団第二部第四班 (大半田)

我が班は第五分団の西端、藤島方面隊で唯一、赤川に面した集落を担当しており

ます。

近年の河川氾濫災害に対しても決して油断できない地域という事もあり、日頃から町内会との連携も欠かさず、団活動に取り組んでおります。

今年度は軽車両の更新も賜り、団員一同訓練等の活動に精進して参ります。



鶴岡市消防団 藤島方面隊

梯子乗りの纏振り隊 隊員募集中

問合せ先

藤島方面隊 藤島分署
64-2139



集中豪雨による 水防出場の記録

本誌表紙にて隊長からの挨拶にもありました、藤島方面隊の水防出場が例年に比べ頻発しました。多くの団員はもとより、関係各所方々にもご協力を頂きながら、水防活動が行われました。

- ・平成30年5月18日
- ・同 8月5日
- ・同 8月16日
- ・同 8月30日(計4回)

平成30年度 藤島方面隊の動き

4月 8日	辞令交付式 初任消防団員研修会 鶴岡市消防団入団式
4月 22日	藤島方面隊春季消防訓練 ポンプ性能検査
5月 6日	鶴岡市消防団春季消防演習 (河川氾濫警戒)
5月 19日	避難勧告対応で中止 鶴岡市水防訓練
6月 9日	操作審査員講習会
6月 17日	藤島方面隊消防操法審査会 操法強化訓練
7月 8日	山形県消防操法庄内支部大会 ふじしま夏まつり
7月 22日	梯子乗りの纏振りの演技披露
8月 5日	地域総合防災訓練 自治体消防七十周年 記念山形県大会
9月 2日	備品員数調査 (各分団単位で実施)
9月 10日	部長以上研修会 (普通救命講習)
10月 10日	鶴岡市消防出初式
11月	
12月 8日	
1月 12日	

編集後記

当広報誌は、市消防団各方面隊で唯一、方面隊独自の活動として、編集・発行しております。

この紙面を通して、藤島地域の皆様に消防団活動を広くご理解いただくと共に、『火の用心』の合言葉をより一層培うことができれば幸いです。

編集委員

- 広報委員長 ■
成澤 正人
- 広報委員 ■
山口 翔 小林 丈夫
中田 貴之 成澤 司
池田 修一 佐藤 千紘
秋庭 紀幸 工藤 英紀
佐藤 達哉 齋藤 高史
澁谷 泉 大沼 大介
田中 涉 松浦 篤